取扱説明書・保証書

AEC06

販売元／保証者　シチズン時計株式会社
本社 〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12

AEC06

保証書	商品名		
	お客様	ご住所 ご氏名	〒 TEL　（　　）　　様
	販売店	住所 氏名	
	お買上げ日		年　月　日
	保証期間		お買い上げ日より1年間

※ **本保証書は日本国内のみ有効です。**
※ This warranty is valid only in Japan.

＜保証規定＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、次の保証規定に従い、無料修理いたします。

■保証の対象となる部分

水晶ウオッチの電子回路部品、機械部品及び外装部品。ただし、バンド及びご使用中に生じるガラス・ケース・バンド類の小傷・汚れ等による外観上の変化は除きます。

■保証の態様

修理・調整を原則といたします。
修理の際、ガラス・ケース・文字板・針・りゅうず・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。

■保証を受けるための条件（手続き）

保証規定による修理、調整の際は、必ず現品に本保証書を添えて保証元へお送りください。

■保証の適用除外

保証期間中でも次の場合は有料修理・調整となりますのでご了承ください。
- 誤ったご使用、お客様ご自身による修理・改造、またはお取扱いの不注意による故障。
- 本保証書のご提示がない場合。
- 本保証書にお買い上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 天災・火災・事故などによる故障及び損傷。

※本保証書に記載される個人情報は製品の保証に関する以外には使用いたしません。
※本保証書は当社保証規定により無料修理を保証するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

保証とアフターサービス

1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3. 修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

5. 定期点検（有償）について

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度、点検（有償）を行なってください。防水時計の防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行なってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行なう必要がある場合もありますので交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

6. 修理について

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

7. その他お問い合わせについて

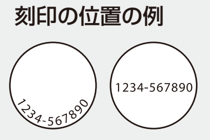
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
また、シチズンホームページ（http://citizen.jp/）の「サポート」→「時計の操作ガイド」→「機種番号」で操作説明がご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。（右図）
この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が機種番号になります。
右の例では「1234」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は異なります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

商品の特長

ソーラーテック（光発電）

光を当てることで充電して時計を動かします。光エネルギーを電気に変換する光発電機能を搭載し、定期的な電池交換が必要ありません。一度フル充電すると、光が当たらなくても約6ケ月間時刻を刻み続けます。

電波受信による時刻合わせ機能

標準時刻情報を自動的に受信して時刻を合わせます。標準時刻情報は、福島と九州の電波送信所から送信され、受信環境の良い局を選択して受信します。時計からは電波を発信しませんので、人体や医療機器への影響はありません。

パワーセーブ機能

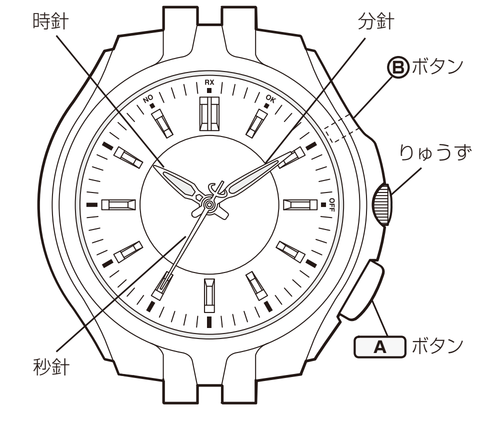
光が当たらない場所に連続して7日以上、時計を保管した場合、午前00時00分00秒になった時点で針の運針が止まります。（パワーセーブ作動中も精度範囲内で時刻を刻んでいます。）
- **時計に光を当てると、パワーセーブが解除されます。**
- パワーセーブ解除後は、強制受信を行ってからご使用ください。

1. 各部の名称

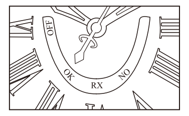
a. ボタンとりゅうず

電波受信の結果の見かたは「**3-d 電波受信結果の確認**」をご覧ください。
※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。
※ボタンの形状はモデルによって異なる場合があります。

受信結果を針先で示すタイプ

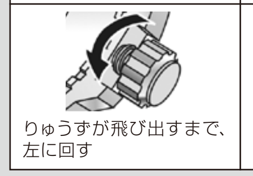
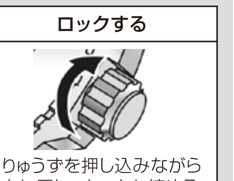


受信結果を針の尾で示すタイプ



◆ ねじロックりゅうず（ボタン）の使いかた

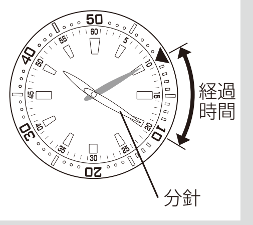
モデルによって、りゅうずやボタンがねじロックりゅうずの場合があります。
時計を操作しないときにりゅうずやボタンをロックすることで、誤操作を防ぎます。時計を操作するときは、ロックを解除してください。

ロックを解除する	ロックする
 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める

◆ 回転ベゼルがついているモデルの場合

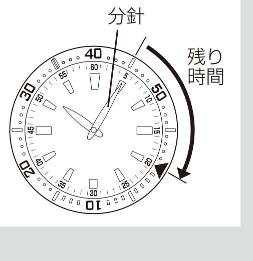
経過時間の計測

1. 計測開始時に回転ベゼルのゼロマーク"▼"を、分針の位置に合わせます。
2. 以後、分針の指す回転ベゼル上の目盛を読み取れば、経過時間が求められます。図例では経過時間が10分であることがわかります。



残り時間の計測

1. 回転ベゼルのゼロマーク"▼"を目標時刻に合わせます。
2. 以後、分針の指す回転ベゼル上の目盛を読み取れば、目標時刻までの残り時間がわかります。図例では残り時間が15分であることがわかります。



2. 充電する

a. 充電する

文字板に直射日光や、蛍光灯の光を当てて充電します。

◆ 上手な充電のポイント

- 時計を外したときも、時計の文字板面に太陽光が当たる、明るい場所に置くと、常に時計は正しく動き続けます。
- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当らないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 月に一度は直射日光を当てて、充電してください。光の当たらない場所で保管する場合は、保管前に十分に充電してください。

b. 充電時間の目安

充電時間の目安は下記の通りです。ただし、モデルにより充電時間は異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

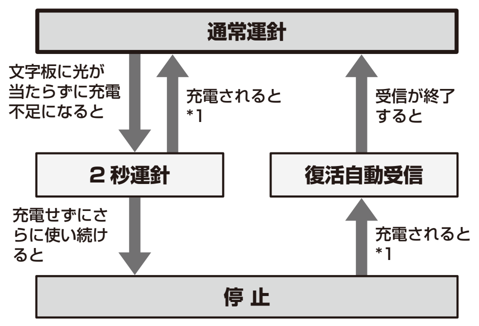
⚠ **充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心がけてご使用ください。**

環 境	充電時間	
	1日分の充電時間	停止状態から1秒運針するまでの時間
屋内	4時間	40時間
蛍光灯	40分～2時間	6～17時間
屋外（曇天、晴天）	3～12分	45分～2時間

1日分の充電時間：時計を通常運針で1日動かすのに必要な充電時間。
フル充電までの時間：時計が充電不足で停止している状態から最大に充電されるまでの充電時間。

c. 充電のしくみ

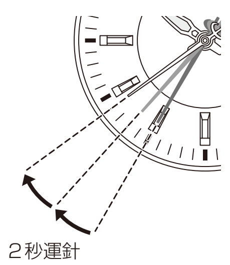
2秒運針になったときは充電してください。
充電不足になると、下のように動作が切り替わります。



*1 充電不足で停止した場合、十分光を当てても復活自動受信を行うまで、最短で約30分かかります。

d. 充電警告機能

充電不足になると、秒針が1秒運針から2秒運針（2秒毎に1回2目盛りずつ進む動作）に切り替わります。2秒運針を始めてから約2日以上経過すると、充電不足で時計は停止します。
充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。



「電波受信」「電波受信結果の確認」「時差の修正」「基準位置確認と修正」の最中に充電不足が発生すると自動的に操作を中断し、操作前時刻に戻り、2秒運針をはじめます。

⚠ **2秒運針しているときは定時受信、強制受信および手動での時刻修正はできません。**

◆ 過充電防止防止機能

- フル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。
- どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能などに影響を及ぼす心配はありません。

3. 電波を受信して時刻を合わせる

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

〈受信方法〉

安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3～15分です。

- 金属のしゃへい物や環境により受信しにくいことがあります。建物内などでは、できるだけ窓の近くで受信してください。（下記「◆電波受信可能地域の目安」参照）
- 日の出、日の入り前後は、電波を受信しにくい場合があります。この時間帯を避けて受信してください。

◆ 受信が困難な場所について

電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では電波を正確に受信できないことがあります。
極端に高温や低温の場所／鉄筋コンクリート建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下／通信中の携帯電話の近く／車、電車、飛行機の中／高圧線（電線）、電車の架線、飛行場（通信施設）の近く／テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の電化製品やOA機器の近く

a. 定時受信

毎日午前2時または、4時に自動的に受信をはじめます。
時間になったら上記**〈受信方法〉**の要領で受信してください。
（午前2時に受信できなかった場合は、午前4時に受信します。）
- **受信を開始すると、秒針がRXに移動します。**
- **受信中は秒針が回転し、受信開始時からの時間差を自動的に修正します。通常運針になるまで時計を動かさないでください。**
- **受信が完了すると、秒針がRXから通常運針になります。**
- **「電波受信結果の確認」で受信結果を確認してください。**

b. 強制受信

いつでも受信を行えます。受信環境が変わり定時受信できなかった場合などに行ってください。

〈受信手順〉

1. 上記**〈受信方法〉**のように時計を置いてください。
2. [A] ボタンを約2秒以上押し、秒針がRXに停止したらボタンから指を離してください。

⚠ **RXで針が停止してもそのままボタンを押し続けると、電波受信OFFに切り替わります。**

- **受信中に秒針が回転し、受信開始時からの時間差を自動的に修正します。通常運針になるまで時計を動かさないでください。**
- **受信が完了すると、秒針がRXから通常運針になります。**
- **「電波受信結果の確認」で受信結果を確認してください。**

c. 復活自動受信

充電不足で時計が止まった後、十分に充電されると、1度だけ自動的に受信を行います。

- 受信中、各針は停止します。
  受信中に時刻を確認したい場合は、[A] ボタンを2秒以上押して、受信をキャンセルしてください。各針は時刻表示に戻ります。
- 復活自動受信に失敗した場合は、充電不足で停止したときの時刻に戻り動き始めます。この場合は1秒運針していますが時刻がちがっているため、「強制受信」または、「手動で時刻を合わせる」を行ってからご使用ください。

d. 電波受信結果の確認

電波受信に成功したか、失敗したかを確認できます。

〈確認手順〉

[A] ボタンを1秒押します
↓ 電波受信結果表示位置に秒針が移動します

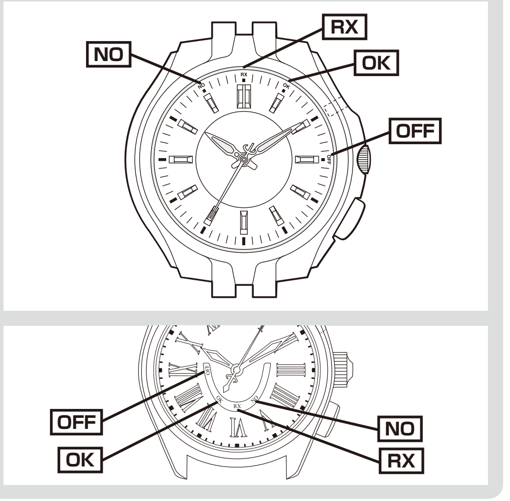
OK：電波受信成功です。
成功しても時刻が合わない場合は「基準位置確認と修正」を確認してください。
NO：電波受信失敗です。強制受信または環境を変えて受信を行ってください。
OFF：電波受信機能がOFFです。

- **受信結果は10秒間表示した後、自動的に通常運針に戻ります。または、表示中に [A] ボタンを押して離すと通常運針に戻ります。**
- **電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により時刻表示にわずかなずれが生じます。**

◆ 受信結果の表示位置

電波受信結果などは、秒針が文字板上の結果表示位置を指し示すことで分かるようになっています。

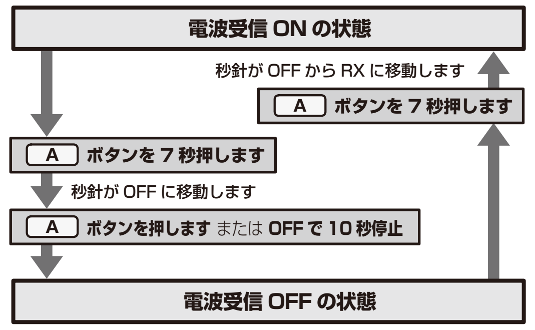
OK	NO	RX	OFF
受信成功	受信失敗	受信中	受信OFF



e. 電波受信のON/OFF切り替え

電波受信機能はON/OFFを切り替えることができます。
海外などでまれに日本の標準電波を誤受信してしまう地域では、受信を停止させることにより日本の時刻に戻るのを防ぎます。

〈切り替え手順〉



◆ 電波受信可能地域の目安

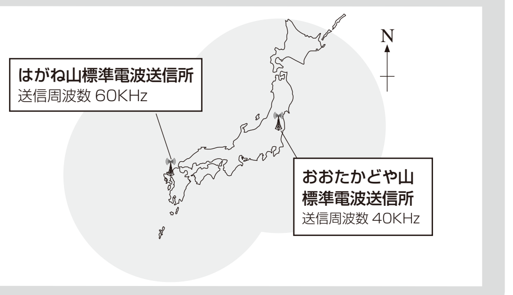
この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域の目安は次の通りです。ただし、時間帯や季節、天候などにより、電波状況が変化し受信可能地域が変化する場合があります。
受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

〈電波送信所〉
- **おおたかどや山標準電波送信所（福島局）**
- **はがね山標準電波送信所（九州局）**

〈標準電波について〉

日本国内の標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。標準電波の送信状態の確認は、情報通信研究機構・日本標準時プロジェクトのホームページ（http://jjy.nict.go.jp/）をご覧ください。

※標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。



4. 手動で時刻を合わせる

a. 時刻の合わせ方

1. りゅうずを引き出します。
   - **秒針が0秒位置に停止します。**

⚠ **0秒位置で停止しない場合は、基準位置がずれている可能性があります。「基準位置の確認」を参照してください。**

2. りゅうずを回して時刻を合わせます。
   1クリックで1分ぶんの各針が連動して動きます。
   （右回しで進み、左回しで戻ります）
   - **りゅうずを素早く連続回転（2クリック以上）すると針が連続運針します。**
   - **連続運針を止める場合はりゅうずを右または、左に1クリックします。**
   - **りゅうずが1回転する間に、カチッと指先に軽いクリック感を感じます。**
3. 時報などに合わせてりゅうずを押し込んで終了です。

b. 1時間単位での時刻合わせ

1. Ⓑ ボタンを押します。
   - **秒針が高速で往復運針後、通常運針になりましたら修正可能の合図です。**
   - **10秒間何も操作しないと、自動的に修正状態が解除されます。**
2. りゅうずを引き出さないで回転させると、針が高速で1時間ぶん動き、通常運針に戻ります。（右回しで進み、左回しで戻ります）
   - **通常運針後、10秒以内でしたら何度も操作を繰り返すことができます。**
3. 時刻合わせ後に Ⓑ ボタンを1回押します。
   - **修正状態が解除されます。また、10秒間何も操作しないと、自動的に修正状態が解除されます。**

c. 時差の修正

電波受信機能を停止（受信OFF）させてから修正することで、海外で日本の標準電波を受信しても、日本の時刻へ戻ることを防ぎます。
電波を受信しない状態では、月差±15秒の精度で時計は動きます。

1. 電波受信機能をOFFにします。
2. 「1時間単位での時刻合わせ」を行います。
   - **数時間の時差がある場合は、操作を繰り返し行って時刻を合わせてください。**

日本時刻に戻す際は「受信ON」にした後、「強制受信」で時刻を合わせてください。

5. 基準位置確認と修正

電波時計は基準位置をもとにして、受信した電波時刻を針で表します。外部からの強い衝撃や磁気などの環境におかれた場合、基準位置がずれる可能性があります。ずれた状態で使用されると、電波を受信しても時刻が正しく表示されません。電波受信しても時刻が正しくない場合は、基準位置を確認し、修正してください。

a. 基準位置の確認

Ⓑ ボタンを約5秒押します
↓ 秒針が正転または逆転で動きはじめたら
Ⓑ ボタンを離します
↓ すべての針が高速で運針し、時計の記憶している基準位置で止まります

基準位置が正しいと、針が0時0分0秒を示します。ずれた場合は、「基準位置の修正」を行ってください。

b. 基準位置の修正

1. りゅうずを引き出します。
2. 針を0時0分0秒の基準位置に合わせます。
3. りゅうずを押し込むと、新しい基準位置を記憶します。
4. Ⓑ ボタンを押すか、そのまま2分放置すると通常運針へ戻ります。

万一、時刻が合わない場合は「強制受信」を行ってください。

製品仕様

機種：	H335／H336
型式：	アナログソーラーテックウオッチ
時間精度：	電波非受信時 平均月差 ± 15秒 （常温（+5 ℃～+35 ℃）での携帯時）
作動温度範囲：	-10 ℃～+60 ℃
表示機能：	時刻：時、分、秒
付加機能：	● 電波受信機能（定時受信、強制受信、復活自動受信） ● 電波受信局自動選択機能（日本標準電波専用） ● 電波受信中表示機能（RX） ● 電波受信結果確認機能（OK、NO） ● 電波受信 ON/OFF 選択機能 ● 手動時刻修正機能 ● 基準位置確認／修正機能（0時0分0秒） ● 光発電機能 ● 充電警告機能（2秒運針） ● 過充電防止機能 ● パワーセーブ機能
持続時間：	● フル充電後、充電しないで時計が停止するまで：約1.5年（パワーセーブが作動しているとき）約6カ月（パワーセーブが作動しないとき） ● 充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで：約2日 （持続時間は電波受信回数などによって異なります。）
使用電池：	二次電池（ボタン型リチウム電池）1個

※ 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

故障かなと思ったら

状 況	確認事項	対処方法
電波受信を開始しない。	秒針がRXに移動してますか?	[A] ボタンを押し続け、秒針がRXを指したら、指を離してください。
	電波受信OFFになっていませんか?	「電波受信のON/OFF切り替え」を参照してください。
電波受信はできるが、時報等の時刻と合わない。 針がNO/RX/OFFのちょうどの位置を指さない。	基準位置が正しくセットされていますか?	基準位置を確認してください。 基準位置が正しくない場合は、「基準位置の修正」を参照して合わせ直してください。
電波受信できない。 （受信可能地域内で）	電波をしゃへいする物やノイズを発生する物が近くにありませんか? または、窓から遠い場所で受信していませんか?	電波をしゃへいする物や、ノイズが発生する物を避けて、時計の9時位置を窓際に向け受信してください。場所、方向、角度を何度か変えて窓際の受信しやすい場所を探してください。 「◆電波受信可能地域の目安」、「◆受信が困難な場所について」を参照してください。
	電波受信中で秒針がRXを指しているときに時計を動かしていませんか?	受信が終了するまで（通常運針に戻るまで）時計を動かさないでください。
	電波受信OFFになっていませんか?	「電波受信のON/OFF切り替え」を参照してください。

* * *

お取り扱いにあたって

時計は常に充電を心がけてお使いください

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意　充電上の注意

充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60℃以上）での充電は避けてください。
  例）・白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。
  ※白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
  ・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

二次電池の交換について

この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をおすすめします。

⚠ 警告　二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
  やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
  万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

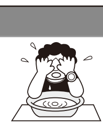
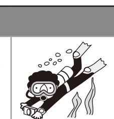
⚠ 警告　指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
  他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

⚠ 警告　防水性能について

- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10／20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

※時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。（1 barは約1気圧に相当します）
※WATER RESIST (ANT) xx barはW.R. xx barと表示している場合があります。

名 称	表 示 文字板または裏ぶた	仕 様	使用例				
			 水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	 空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	―	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

⚠ 注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量に汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうずなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

《バンドについて》
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります（脱色、接着はがれ）。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

《温度について》
- 極端な高温／低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《静電気について》
- クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

《磁気について》
- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

《ショックについて》
- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《化学薬品・ガス・水銀について》
- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意　時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

《夜光付き時計について》

時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。
- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。